

I. 活断層で発生する地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 平成24年(2012年)1月1日)

	2011年1月1日時点の評価	2012年1月1日時点の評価		2011年1月1日時点の評価	2012年1月1日時点の評価
養老-最名-四日市			有馬-高槻		
300年	0.001-20%	0.002-20%	50年	0-0.06%	0-0.07%

※活断層評価備考
ここに掲載しているものは、再計算の結果、発生確率値の表記に変更のあったもの。

II. 海溝型地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 平成24年(2012年)1月1日)

	2011年1月1日時点の評価	2012年1月1日時点の評価		2011年1月1日時点の評価	2012年1月1日時点の評価
相模トラフ			日本海溝縁部		
大正型			北海道北西沖		
平均発生間隔	200-400年		平均発生間隔	3900年	
ばらつきα	0.17-0.24		ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.22-0.44	0.22-0.44	経過率	2100年(0.54)は概数なので更新せず	
10年	ほぼ0%-0.1%	ほぼ0%-0.1%	10年	0.002%-0.04%	0.002%-0.04%
20年	ほぼ0%-0.5%	ほぼ0%-0.6%	20年	0.004%-0.07%	0.004%-0.07%
30年	ほぼ0%-2%	ほぼ0%-2%	30年	0.006%-0.1%	0.006%-0.1%
40年	ほぼ0%-4%	ほぼ0%-4%	40年	0.008%-0.2%	0.008%-0.2%
50年	ほぼ0%-7%	ほぼ0%-7%	50年	0.01%-0.2%	0.01%-0.2%
100年	ほぼ0%-40%	ほぼ0%-40%	100年	0.03%-0.4%	0.03%-0.4%
300年	50%-90%程度以上	50%-90%程度以上	300年	0.2%-2%	0.2%-2%
元禄型			北海道西方沖		
平均発生間隔	2300年		平均発生間隔	1400-3900年	
ばらつきα	0.17-0.24		ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.13	0.13	経過率	0.02-0.05	0.02-0.05
10年	ほぼ0%	ほぼ0%	10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%	20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%	30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%	40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%	50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%	100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%	ほぼ0%	300年	ほぼ0%	ほぼ0%
前瀬トラフ			北海道南西沖		
南海地震			平均発生間隔	500-1400年	
平均発生間隔	次の地震90.1年(平均:114.0年)		ばらつきα	0.17-0.24	
ばらつきα	0.20-0.24		経過率	0.01-0.03	0.01-0.04
経過率	0.71	0.72	10年	ほぼ0%	ほぼ0%
10年	10%-20%	20%程度	20年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	40%程度	40%程度	30年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	60%程度	60%程度	40年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	70%-80%	80%程度	50年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	90%程度	90%程度	100年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	90%程度以上	90%程度以上	300年	ほぼ0%-4%	ほぼ0%-4%
300年	90%程度以上	90%程度以上	青森県西方沖		
東南海地震			平均発生間隔	500-1400年	
平均発生間隔	次の地震86.4年(平均111.6年)		ばらつきα	0.17-0.24	
ばらつきα	0.18-0.24		経過率	0.02-0.06	0.02-0.06
経過率	0.76	0.78	10年	ほぼ0%	ほぼ0%
10年	20%程度	20%程度	20年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	50%程度	50%程度	30年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	70%程度	70%程度	40年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	80%-90%	80%-90%	50年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上	100年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	90%程度以上	90%程度以上	300年	ほぼ0%-5%	ほぼ0%-5%
300年	90%程度以上	90%程度以上	山形県沖		
三陸沖から房総沖			平均発生間隔	1000年以上	
三陸沖北部			ばらつきα	0.17-0.24	
平均発生間隔	97.0年		経過率	0.18以下	0.18以下
ばらつきα	0.11-0.24		10年	ほぼ0%	ほぼ0%
経過率	0.44	0.45	20年	ほぼ0%	ほぼ0%
10年	ほぼ0%-0.6%	ほぼ0%-0.8%	30年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	0.004%-4%	0.007%-5%	40年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	0.5%-10%	0.7%-10%	50年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	8%-30%	10%-30%	100年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	40%-50%	40%-50%	300年	ほぼ0%-0.1%	ほぼ0%-0.1%
100年	90%程度以上	90%程度以上	新潟県北部沖		
300年	90%程度以上	90%程度以上	平均発生間隔	1000年以上	
千島海溝(1/2)			ばらつきα	0.17-0.24	
十勝沖			経過率	0.05以下	0.05以下
平均発生間隔	72.2年		10年	ほぼ0%	ほぼ0%
ばらつきα	0.24-0.32		20年	ほぼ0%	ほぼ0%
経過率	0.10	0.11	30年	ほぼ0%	ほぼ0%
10年	ほぼ0%	ほぼ0%	40年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	0.002%-0.1%	0.004%-0.2%	50年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	0.3%-2%	0.5%-3%	100年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	5%-10%	6%-10%	300年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	20%-30%	20%-30%	千島海溝(2/2)		
100年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上	色丹島沖		
300年	90%程度以上	90%程度以上	平均発生間隔	72.2年	
根室沖			ばらつきα	0.24-0.32	
平均発生間隔	72.2年		経過率	0.57	0.59
ばらつきα	0.24-0.32		10年	8%-10%	9%-10%
経過率	0.52	0.53	20年	30%程度	30%程度
10年	5%-10%	5%-10%	30年	50%程度	50%程度
20年	20%-30%	20%-30%	40年	70%程度	70%程度
30年	40%-50%	50%程度	50年	80%-90%	80%-90%
40年	60%-70%	70%程度	100年	90%程度以上	90%程度以上
50年	80%程度	80%程度	300年	90%程度以上	90%程度以上
100年	90%程度以上	90%程度以上	択捉島沖		
300年	90%程度以上	90%程度以上	平均発生間隔	72.2年	
※海溝型地震備考			ばらつきα	0.24-0.32	
ここに掲載しているものは、再計算を行ったもの全て。			経過率	0.65	0.67
黄色で示した箇所が、再計算の結果、表記に変更のあったもの。			10年	20%程度	20%程度
			20年	40%程度	40%程度
			30年	60%程度	60%-70%
			40年	70%-80%	80%程度
			50年	80%-90%	90%程度
			100年	90%程度以上	90%程度以上
			300年	90%程度以上	90%程度以上
			(参考)想定東海		
			平均発生間隔	118.8年(参考値)	
			ばらつきα	0.20	
			経過率	1.31	1.32
			30年	87%(参考値)	88%(参考値)